

平成30年度 文教大学国文学会

第18回冬の研究発表会

12月1日(土) 13:00-16:45



第一部受付開始12:30～

◆第一部 研究発表会◆ 13:00-14:20 8502R

文教大学大学院言語文化研究科

* 佐藤 秀俊「中井履軒『論語逢原』のコンテクスト観」

* 顧 羽寧「宮沢賢治「北守将軍と三人兄弟の医者」論—漢文出典の分析を中心に—



※第二部受付開始14:00～

◆第二部 古典芸能鑑賞会◆ 14:35-16:45 8501R



「平家詞曲の解説」

「句組(演目)「祇園精舎」「敦盛最期」ほか」



前田流平家詞曲相伝
鈴木 まどか 氏

解説・紹介：紙 宏行先生



<平家詞曲とは>

源平合戦を描く『平家物語』に節をつけて「平家琵琶」という楽器の伴奏で語るものです。鎌倉時代から700年以上のあいだ盲人たちが語り伝え、江戸時代には大名や武家の教養ともなった伝承文化です。現代でも、十数人が平家詞曲のすべてを伝承しています。

文教大学国文学会事務局

お申し込み・問い合わせ先 **入場無料**

文教大学国語・日文研究室 Tel・Fax : 048-974-8965 (月～金 9:00-17:00)

メール : nichijun@koshigaya.bunkyo.ac.jp

※お名前、ご住所、お電話番号、参加人数を明記の上、
上記電話、ファクス、メールのいずれかにてお申し込みください!!

なお、駐車場がございませんのでご来場には公共交通機関をご利用ください。

